

国立国会図書館 タイトル『宝善堂漫筆』 請求記号 858-19

ガラス使用

858-19

寶善堂漫筆

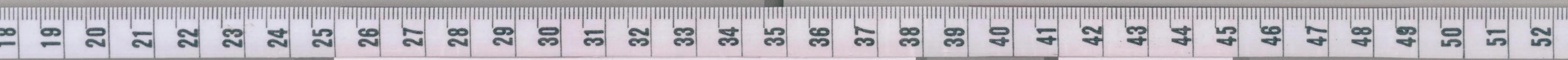
茶話



寶善堂漫筆

茶話

門人 信濃春山藏板



茶心茶心



寶善堂漫筆

茶話 春山 志野惟賢鈔録

春は日のくらくあつちやうつゝの
しらおろして宇治乃本茶は
昔今のあはれする物なり
或乃のりをその類予ハ其
志すもこれとあきくは心
おぼやかし



なれしことごとく思ひあふ多かりし
かゝりしを思ふは世中の人を其の
茶の式と學ぶを見ゆふあはれは其の
他法のお心得るに若くも予は
了志ふあはれ作法の中より易く
しるふ本意はいふを得るべし其
得るに所然るを得るべし其
道も大なる事いふべし

心付の上を以て其の調度のおもふ
あはれを思ふは世中の人を其の
茶の式と學ぶを見ゆふあはれは其の
他法のお心得るに若くも予は
了志ふあはれ作法の中より易く
しるふ本意はいふを得るべし其
得るに所然るを得るべし其
道も大なる事いふべし

寶善堂漫筆

信濃の山田松齋のめいものなまき
所をもくよきあけつる詞の
ふり味あしあはれいさそ
あのおもひごとく
又及つてそのま 藤原公高



慶元堂蔵板目錄

四庫全書總目 全六冊

清乾隆帝四庫館ヲヒキ文淵閣書
目ナラビニ附存目錄ヲ出スサキニ刻
行スル焦氏經籍志等ハセニ存セガ
ル書マデヲ附ス頗ル無益ヲ覺テコノ
總目ハマノアタリ上古ヨリ清朝ニテ傳
上存スル所ノ書ノ品目ニシテ學者ノ
家ニ關ヘカラサル書ナリ
文化二年 官刻成

唐宋八大家讀本 全六冊

韓昌黎 柳柳州 歐陽公 蘇老泉
蘇東坡 蘇頴濱 王荊公 曾南豐
右八大家ノ文章ナリ撰者沈德潛ハ乾隆
帝ノ翰林學士ニテ俊秀ナル學者ナルニ
選文皆純粹ニシテ文人ニ裨益アル書ナリ
文化十一年 官刻成

和泉屋庄次郎

台宗二百題 全十五冊

台宗論題書アマタ有トイハル古題ニ
テマワリドウシ此二百題台宗論題ニ益
アル演説ヲマタズ古板不幸ニシテ天明
年間祝融ノ災ニカル然レハ台家ニ日モ
闕ヘカラサル書ナルヲ以テ再板成テ舊
ノ如ク行ワル
東叡山御蔵板

元三 慈眼 兩大師御傳記 繪本 全五冊

西大師御高德ハ世人ノ知所ナリ別シテ
南光坊慈眼大師ノ御徳ノ廣大ハ六筆
帝ニノセカタシコノ御傳記ハ大師御直弟
子凌雲院胤海僧正ノ著述ナリ画工ハ上佐
家住吉具教ナリ恐レオシクモ板本ニ
神君様并ニ
三代將軍様ノ

陸徳明經典釋文 考證 全廿冊

コノ書ノ原本ハ影宗本ニシテ清盧文昭考證ヲ為ル其中 本邦物氏ノ七經孟子考文補遺等ノ書並ニ唐宋以上ノ書ニ依テ精微ニ校正ス 本邦ハ唯一本舶來セシヲ得テ翻刊ス實ニ經學者ノ文房ニ須臾モ無シバアルベカラザル書ナリ此書ノ奇特ナルハ予ガ著ス所ノ經典釋文盛事ニ詳ナリ

九經談 大田錦城先生著 全四冊

今ノ世ニ經義ヲ論セル書數多アリトイヘドコノ書ニサレハナシ抑々先生英邁ノ大活眼ヲ開キ學問ニ該博ヲ極メ發明スル所アリテツイニコノ書ヲ著ス論スルトコロ考據ハハダ正シクシテ多ク先賢ノイニテ發セザルトコロヲ說破スニコト一四方ノ學者ヲシテ耳目ヲ新ニシ經學ノカラタスル書ナリト云

范石湖詩鈔 周璽翁 全三冊

陸放翁詩鈔 全四冊

二家ハ南宋詩ノ大家ナリ范詩ハ凄婉工緻悲壯精細ヲ兼備シテ唐ノ李青蓮ノ比ナリ然レ青蓮ノ詩ハ奇ニテ逸ナルニ工學ビガタシ范詩ハ奇ニテ密ナルニ工學ビヤスシ陸詩ハ富贍ナルヲ万首餘ニ及ビ暉融和雅憤悲ヲ兼又唐ノ白香山ニ比ス然レ香山ノ詩ハ總テ權樂ノ意ニシテ憤悲ノ詞スクナシ陸ハ忠憤ノ詞多シ是陸ノ勝レル所ナリ二家トモニ詩學ニ大益アル書ナルヲ北山先生ノ序ニ詳ナリ

聯珠詩格 元 全五冊

コノ書ハ唐宋詩ノ格アルモノヲ悉クラセ注解ヲ附タレバ作詩家ノ關ヘカラサル書ナリ一齋先生ノ序ニ此書清朝ニ闕テ幸ニ本邦ニ存スル由ヲベタリ

御影像ハ候書コノ一書ニカギリ香ヲ薰シ讀ミ漱イテ拜覽アルベキ書ナリ 東嶽山御藏板

聖道衣料篇 佐野盛典著 全二冊

上卷ニハ二衣五衣ノ事下卷ノ事ニハ台真言傳法灌頂ニ束帶種々莊嚴ノ支紫甲青甲ノ袈裟ノ支鼻高及草鞋等ノ支 下卷ニハ輪袈裟ノ事金蘭地衲衣袈裟ノ支半裝束數珠ノ支袈裟得名ノ支衣料ニ尺法有事 其外佛家ニカハリシコトモ委クカキノセタリ

聖語掇輯 日蓮宗堅樹著 全二冊

大學纂釋 精里占賢先生著 全三冊

同諸說辨誤

四書集注 道春 全十冊

正徳年間ノ刻本ニテ極テ大字本ナリ 大方君子所求

伊勢物語増選鈔 定家卿注 全一冊

假字考 岡田真澄著 全二冊

芭蕉文集 小林龍山校正 全二冊

隨齋諧話 成美先生著 全二冊

四山稿 成美先生著 全二冊

歸正漫錄 安井直祐先生著 全一冊

宋明名儒數輩ノ佛老ノ害ヲ論セシラ諸書ヨリ涉獵シ記出ス異端ノ邪路ニ迷フ者ヲ正シキ儒道ニ歸リ入シムルノ書ナリ

聯珠詩格 小本 全二冊

懷中本ニシテカタハラニ押韻平仄ヲ附シテ初學ノモノニ便リス作家ノ活法タルモノ此冊ヨリ善キハナシ

同 譯注 如亭先生著 全一冊

サキニアラハス所ノ詩格小本韻字ト平仄ヲ附トイハレ初學ノモノノ解シカタキヲ患ヒテ片カナニテ詩意ヲ委シク解キタレバ初學ノ者トイハレ詩意ヨク解テ師家ノ口舌ヲ勞セズト云

宋三大家律詩 詩禪 西先生選 一冊

范石湖楊誠齋陸放翁三家ノ全集ノ中ヨリ律詩ヲ撮アツメ作詩人ヲ二三家對聯手段ノ妙ナルヲ學ハシムル為ニス

刀劍或問 肥後松村昌直著 全五冊

此書ハ松村生刀劍ノ鍛鍊ト鑿賞ト

技ノ蘊奧ヲ尽シ千古未發復古ノ説ヲ立テ朋友又門人ト多年問答シタル趣ヲ録セシ書ナリ曾テ此技ヲ四方ニ學ビシトキコレヲ他人ニ漏ラスマジキヨシヲ鬼神ニ擔テ諸家ノ秘傳ヲ受今其擔約ヲ破テ此書ヲ著シタルモノノ為ニスモシ神罰セハ國家ノタメニ身ヲ以テコレニ當ラント欲ス是コノ書ナルノ基ヒナリ刀劍ヲ好ム人必見ズンバアルニカラス

萬葉集猶落葉 正木千幹大人輯 全壽

天象地儀神祇教國郡居人倫服食器財草木鳥獸魚蟲ノ類ヲ分チ歌ノヨシアレヲイヘテ此集ニ始テヨシ出タルヲ取テフタビ見ヘタルヲ省キ或ハ珍ラカナル或ハミヤタルスベテ古考ノ考證トナルベキ詞トモラモラサテ拾テ頭ニアゲテ歌ノ作例ヲツバラニエリイテ傍ニ流布ノエリ卷ノツイテモテ何卷何丁ノ表裏ヲ

和漢年代廣記大成 全二冊

是迄ノ年代記トハ殊ヤフニテ一年毎ニ日本ト唐山トヲ合置テ見安カラシメ一紙ニ八十年半紙ニ四十年一行四年ト隔ア六十年ヲ數フルニ甚便利ナリ毎年ノ記事ニ於テハ無益ノコヲ省キ大事有益ノコヲ大ニ委シク記シタレハ外題ニ廣記大成ノ字ヲ冠ラシメタリ

和漢年統 鏡湖大野先生編 全一冊

此書ハ一頁毎ニ六十年ヲ載セ支干ヲ附和フ上ニ漢ヲ下ニシ年ヲ數ルニ屈指ヲ待タズ 和ハ六國史ヨリ始メ近世ニ至ルニテ正史及ビ諸家ノ實録ニ因テ正シ漢ハ廿一史ヨリ始メトシテ清三朝實録ニテ探リ約モ有用ノ事ヲ漏ラズ汗牛ノ書ヲ約略シテ一卷ノ小冊子トナシ好事家ノ用ニ供ス歴史ノ索引ニシテ典故ヲ探ル捷徑ナルコト書ニ過タルハナレト云

同 漫筆 原雙桂著 全一冊

雙桂先生ハ一世ノ鴻儒ナリ此編ニ元龜天正ノ頃ノ忠臣勇者ヲ紀スルヲ以テソノ史才アルヲ見漫筆ヲ以テ博物ノ議論ヲ見増彦教ニ復ス書ヲ以テソノ水ヲ非シ物ヲ詰スルノ卓タル識ヲ見先儒ヲ評論スルニ至テハ亦甚深味アリ此書ハ實ニ先哲叢談ト併見スベシ

同 江戸土産 重長画 三冊

同 續篇 鈴木春信画 三冊

此繪本ハ江戸ノ壯觀及ビ處々名所ノ風月雪花ニ春夏秋冬景色宜キ地産ニ種々名物ニテテ罔面シ且ソノ地ノ物ノ故事緣由ヲ備ニ記リ實ニ諸國ニ行人家ニ宜シキモノナラズ江戸ノ人トイヘバ目ヲヒロムルニ足レリ

萬葉集

三



サハ委シク記サレタレバ古ヘフリノ歌ヨシク又古シヘマナビセンニハ片時モ机ヲハナツベカラザル書ナリ

萬葉集借字對照 采千幹大人輯 全二冊

コハ此集中ニ見ヘタル借字ト真假字トヲムカハ照シテエリ出サレタレバ本州和名新撰字鏡和名類聚ナドニモレテイトノ古クヨリミタル文字ノ和訓ヲミルベキ神國ノ寶鑑トヤイフヘキサルハイニシヘニ心ヲヨセテ歌ヨミナビセンニハ坐右ヲサルマシク又所謂萬葉ガキナドセンニ誠ニラモシロキツカヒサメノ文字數多見テ世ニタカヒナキ書ナリ

桂林詩集 三繩準藏先生著 全三冊

雙桂集 原公諸先生著 全三冊

高眠亭録稿 全四冊

精里初二集抄 精里古賀先生著 五冊

同三集文稿 三繩準藏著 五冊

桂林遺稿 三繩準藏著 全一冊

千字訓童行 賴卷和尚著 全一冊

大清三朝事畧 村山芝橋 北条水原 著 全一冊

唐土名妓傳 清曼翁著 全二冊

明ノ盛ナリシ時遊女街ノ事情ヲ書ナラベ至テ面白ク讀カリテ手ヲ放チカタキ本ナレバ無点ニシテ俗語ナル故讀カタシ今ソノ側ニ片カナラソテ和解ヲ添タレハ甚讀ヨク分リマスシ無雜作ニイハ通俗ノ暇落本ナリ然レ能學者尤清人ノ著述ナレハ根ナラス滑稽ヲ表シ勸善懲惡ヲ裏トシタリ亦文章尺牘ノタメニヨキ書ナリ

挿花四季詠 遠州流 森一訓著 全四冊

新錦木物語 東賢女鑑 五冊

江戸獨案内 全一折

孫過庭書譜 草書中字 一冊

米芾清蹕帖 行書大字 一帖

文徵明西苑詩 行書中字 一帖

郭有道碑 大字隸書 一帖

董其昌江南帖 中字行書 一帖

董其昌古文衡 行書中字 一帖

多胡碑并考 一冊

烏石前赤壁賦 楷書大字 一冊

同 後赤壁賦 同 一冊

平林淳信伯夷傳 行書大字 一帖

本草和名 大醫博士深江輔仁奉勅撰 法眼多紀安長先生校 全二冊

神農本經 大本鈴木賜谷校 二冊

徽瘡結毒方論 桂川國瑞序 二冊

神代卷 全二冊

神武卷 全一冊

數板アレバ松島社蔵板トアル本ハ悉ク良本ヲ集テ校正シタルニハ脱字モ誤字モナキ善本ナリ 日本ノ人タルモノ此二書ヲ讀ムスニハアルベカラズ

和漢善行録

一名大和為善録 藤井懶齋先生著

三冊

和漢古今善ヲ行ヒ隱徳ヲ施ス人甚多シ然レモソノ姓名詳ナラズ或ハ大部ナル書物ノ中ニテ其故其名モ事モ世ニアラハズ人遂ニソノ行ヒヲシルモノ少ナシ此書物ハ 日本ハ三代實録文徳實録等ヲ始メ近世ニ至ルニテ唐山ハ明ノ成祖ノ為善陰陽録ヲ基ヒトシ太平御覽事文類聚迪吉録ナドヨリ撰出シタルハ勸善微徳ノヨキ玉鑑ノ書物ニサレルハナシヨツテ國字ガキニシテ童蒙女兒ニ見ヤスカラシム覽ル人コレラカミトシテ習ヒ學ヒテ善行隱徳ヲ積ミ施シタマハハ上天イカテカ餘慶ノ福ヲ降シ賜ハガラシマト云尔

嬌世餘言

全一冊

庭訓往来

尊圓親王筆

全一冊

日光御神忌御法會御衆勤付

一冊

御法會御日割御導師御宮様方御附御手替御府内諸國僧正院家檀林大寺御直末又未并衆徒寺中諸國諸山ノ摠代方御列名等クワシクシルス

元三大師百籤和解

一冊

七觀音經

大字兩点付 心經入

一冊

法華宗日鑑

三十番神入

一冊

高祖聖人ヲ初宗門ノ高德名僧諸國諸山ノ開山方等ノコラス記シ日ノ拜礼ニ供フル書ナリ

觀音諸品經 般若心經

七觀音尊影○同緣起○同神咒○普門品○觀音經秘鑰○千手陀羅尼○六觀音真言○並不空羅索○十大願○十句觀音經○三十三身佛影○同和讃○同養屬 廿八部衆

彙刻書目

清願脩著

全十卷

コノ書ハ清朝ニ現存スル叢書類書等ノ彙刻モノラクハシクアツタ記タル書也讀書好事家ノ君子一刻モ左右ヲ不可闕書也 文政元年 官刻成

卜子夏易傳

小林龍山校正

全十一卷

瀛圭律髓

元方回字萬里著 号虚谷子

全四十九卷

門類四十九二分ツ唐宋ノ律詩ヲ精選シテ書ナリ朱子ヲ尊タル人ナリ自序アリ古今詩ヲ集名書汗牛充椽トイヘトモコノ書ニマサレルハナシ

同

横切巾箱本 朝川善庵著 懷中薄用本モ出来

全三冊

近聞偶筆

吉田篁墩著 近刻

全四卷

西銘

全一冊

閱藏智津

明滿益智旭著 佐伯炭藏校

全四十八冊

淨名經二觀玄義

天台大師著

全三冊

請觀音經疏會本

天台大師著 頂法師說

全一冊

像法決疑經記會本

沙門本純著 同周圓分會

全一冊

例時懺法

淨名律院菩薩 比久聖寶校正

全一帙

法華懺法

全一冊

三陀羅尼

右五種東嶽嶺板

全一冊

天台四教儀

高麗沙門諦觀錄

全一冊

佛道手引草

大賢和尚著

全三冊

觀世音御和讃

全一卷

墨子全書 近刻

全十五卷

萬民徳用

鈴木正三著

全一冊

二人比久尼

一名化野物語
鈴木正三著

全一冊

麓ノ草分

鈴木正三著

全一冊

舊注蒙求

龜田鵬齋著

全三冊

大學私衡

同

全一冊

衣裏寶珠書

中山元政上人著

全一冊

黍稷稻粱辨

同

全一冊

法華初心成佛抄

沙門日華著

全一冊

善身堂一家言

同

全三冊

學古編

全一冊

古今文評

王道光著

全一冊

一念三千等御書

日遠上人御文

全三冊

先哲叢談

原念齋先生著

全四冊

時代
模画

俳家奇人談

蓬庵青山人著
蕙齋紹真臨圖

三冊

此書ハ文祿慶長ノ際ヨリ享保元文ノ頃ニ至ル迄名聲籍甚ノ碩儒聞人ノ列傳ニシテ其姓名字号俗稱生誕没故ノ年勝日ニテ洩サズルシ釋史節記及ヒ口碑ニ存スル言行ノ奇談ヲ悉ク採摭メ古人ニ面接シテ往事ヲ見ルガ如クナラシム其言行萬實アリ博覧アリ抗辯アリ矯倭アリ執拗アリ介僻アリ可貴可感可喜可驚可哀可笑ノ往話甚多シ故ニ看官大ニトル時ハ脩身齊家ノ模範トナスベク小クトル時ハ温故知新ノ談柄トナシテ固陋實聞ノ誘ヲ免ル術此書ニヨラスシテ又何カアラム研尋ノ君子一度卷ヲ開カバ終日手ヲ離シ事ヲ得サルホドオモシロキ書ナリ

瓶花庵詩集

附瓶話

全一冊

此書ハ往古宗祇宗鑑守武貞徳ヲ初中古芭蕉其角嵐雪園女千代等其外高名ノ俳客八十有餘人贈答ノ發句金玉絶妙或ハ奇事生卒等ヲ筆面白キ風流ノ禁語ナリ卷中ノ画圖ハ守武ノ熊像貞徳書齋因貞室芳野山花見ノ園芭蕉翁浪華花屋寄宿ノ圖并ハ羽頭陀箱傳來乙由戲場見物ノ圖又古人名家ノ真蹟短冊并ハ畫點印点式等數多何レモ其一々模写ス是皆世ニ稀ナル秘蔵ナリ且當時三都ハ云ニ及バズ諸国名家ノ發句ヲ卷末ニ附録ス素ヨリ詩歌連俳一鉢ニシテ古今縉紳家ニモ詠セラルナレバ詩歌連俳ニオイテノ名家ノ奇談小説多ク編集セリ爰ヲ以テ俳家ノミニモ限ラズ風雅好事ノ君子坐右貯ヘタマヘバ古今風流变化ノ趣ヲ知り

聲畫集

宋孫誓仲著

全四冊

此書題画モノニシテ諸君子ニ有益ノ書ナリ
文化十四年戊寅刊

揚子方言

漢楊雄著

全三冊

疊字法帖

尊朝親王筆
行書中字

全二冊

本朝名公墨寶

全三冊

彙列書目外集

全六冊

此書ハ古今舶来スルトコロノ彙列物ヲ予カ
目撃スルコトニ数年書集ヲキタルコトタビ
渡来スル彙列書目ニ照重出ヲ刪リ脱スル
書ヲ載セ外集ト題シテ梓ニチリバメ諸
子ノ高覧ニ備ト云爾

慶元主人自題

參考伊勢物語

展輪池先生著

全三卷

世ニ註釋數十家有トモモ此書家御秘本拘束偶定家卿
控テ漏ル清本ニヨリ未嘗院途舊御本ト今行本上参考ス精
本ニ致求先生考卷ノ附ハ此本ニヨリトモモ難義ハ心所長ニ詳シ安也

鷺村畫譜抱一先生

曾中山鵬齋先生

寓山樓画筆文見先生

此畫譜ハ當今天下ノ人瞻仰スル所矢家各自内筆ヲ鑲刺シテ画則ヲ學ク先生親
ステ直ニ其堂ニ分リ其室ニ階級トス其蒐羅スル所昂然多人物悠焉名山水香蕙飛
禽山野ノ走獸草花艶麗花樹木ノ鬱蔥タル藻二隱レ鱗介土ニ春蠶ク蟲身ニ至ル迄守由
間ニ在所ノ品類一ツトシテ備ラズト云フナク水墨ノ濃淡ヲ交ヘ着色ノ疎密ヲ示ス丁寧
親切今時現存ノ衆面譜ノ倫ニ非ズ往昔ヨリ舶来ノ畫軸多シトイヘ此画譜一慶出
徽宗ノ鷹風ニ逸レ東坡ノ竹雪ニ折ルト云ベシ其流麗清新寔ニ仰ベク貴ムベシサバ三
各其意匠異ナリトイヘ凡約スル所神韻ノ高キ興致ノ深キ殆一世ノ風靡スルニ足ル見
ニ其目ヲ悦バシムル而已ナラズ未ダ見ザル地ニ到リ未ダ見ザル物ヲ弄フカ如博覽
多識ノ資トモナリテ性情ヲ養ヒ視聽ヲ博スルノ術此画譜一部ニ盡セリ凡云ベシ賜願ノ君
子試ニ一褰ヲ閲シテ我言ノ妄ナラザルヲ知給ヘ

全一冊
全一冊
全一冊

且書画鑒定ノ一助ニモナルシ方今文
人盛ニシテ諸家ノ著述新撰日々月々
ニ多クシテ書肆ユレガ為ニ彫刻ニ倦
雖此各ニオイテ八国書關典ニシテ未
曾テアラザル新書ナレハ此度速ニ刻シ
テ都邑風流君子ノ尊覽ヲ希フ所ニ

長崎先民傳

崎陽盧驥撰
皇都原念齋校

全一冊

此書ハ和漢ノ諸名家崎陽ニ游客タラシ盧驥
先生聚類別部テ十三門トナシ姓名字号俗
稱ヲタシ言行ノ奇談事蹟ヲアザニシルニ
レハ博覽ノタヌアトナルヘクニテ佳話甚多
コトニ名高キ文人ノ著作トシテ初学文法ノ助
トモナルベキ本也

別部如左

學術 談天 隱逸
貞烈 處士 技藝
醫術 通譯 忠孝
流寓 善耆 任俠
緇林



858
19

戲板巨録

文化百人一首 酒井先生筆 蹄齋北馬画 全二冊

同 女今川入

女今川 女手習教訓状入 酒井先生筆 一冊

實語教 頭書入 一冊

隅田川往来 酒井先生筆 一冊

増補塵却記 全二冊

日用算法記 一收摺

萬寶年代記 一收摺

和歌の歌 野野愚先生著 全二卷
要語歌 同 全一卷

繪本武者大全 全二冊

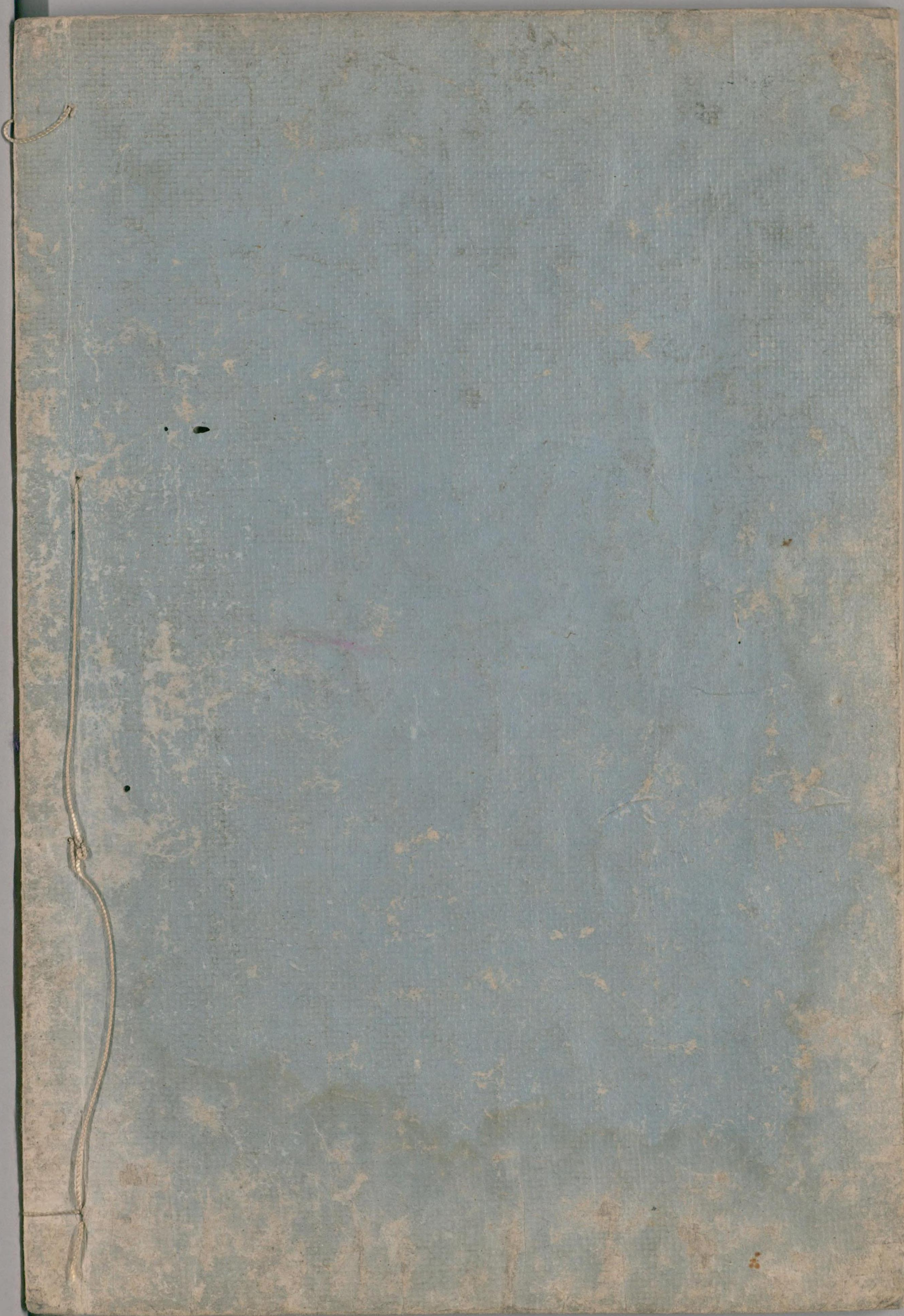
將門一代記
八幡太郎一代記
田村將軍一代記
朝比奈一代記

職官志 蒲生伊三郎著 全七卷

淡海公ノ令義解及ヒ集解六國史扶桑
記日本紀畧類聚國史職原抄官職秘抄
等ニ依リ唐ノ李林甫カ六典等ヲ以テ
皇國ノ職官ヲ參考ス職官ヲ明メシト欲
スル者座右ニ置マンハアルベカラザル書也

文會業餘 松澤老泉著 全四卷

古今藏書家ノ印記措紳諸侯方藏板
書目。唐山ノ官板ヲ 我國ノ書肆翻刻ヒラ
皇國ノ官板ト混ルヲ正シ。通行本異板ノ書
目活板翻刻ノ書目非破圭客ノ問答ノ書
我國五六百年以前大藏經ノ板有リ考ヘ 我朝
古代武家或寺社等ニ印刻シ書目其外書等皆ニ
掛ル奇談等ヲ集ル書也



国立国会図書館 タイトル『宝善堂漫筆』 請求記号 858-19

ガラス使用